

各位



平成 26 年 5 月 9 日

会社名：スターティア株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証第一部)

問合せ先：取締役 兼 常務執行役員

経営企画室長 後久 正明

(TEL : 03-5339-2162)

## 『2014年度～2015年度 2 ヶ年経常利益計画』策定に関するお知らせ

当社グループは、このたび、2015年3月期を初年度とする『2014年度～2015年度 2 ヶ年経常利益計画』を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 『2014年度～2015年度 2 ヶ年経常利益計画』策定の背景

当社グループは、2012年3月期～2014年3月期の3 ヶ年におきまして、「継続的に成長を遂げていくために、積み上げてきたストック売上高の安定的・計画的な積み増しと、他の追随を許さない付加価値の高い独自サービスの研究開発と、新拠点展開・人員増員および育成」を基本方針とした『中期3 ヶ年計画』を2011年5月25日に発表し、真摯に取り組んでまいりました。

ストック売上高の安定的・計画的積み上げは十分に目標達成し、電子ブック作成ソフト「ActiBook (アクティブック)」や、その手軽さをAR (拡張現実) の世界にも応用した「ActiBook AR COCOAR (アクティブック エーアールココアル)」、「CMS Blue Monkey (シーエムエスブルーモンキー)」などのWebアプリケーションの企画・開発等も、自社だけでなく持分法適用関連会社である『西安思达典雅软件有限公司(英文名称:STARTIASOFT INC.)』と共同して研究し、積極的な開発も進めてまいりました。

グループ拠点といたしましても、国内では、名古屋支店・横浜支店・東東京支店をそれぞれ開設し、『株式会社アーバンプラン』を持分法適用関連会社に加えしました。また、海外におきましては、中国上海市に当社100%子会社として『上海思達典雅信息系统有限公司(英文名称:STARTIA SHANGHAI, INC.)』を設立し、台湾におきましては『宏馬數位科技股份有限公司(英文名称:Horma Service Co.,ltd.)』を関連会社に加えるなど、積極的な規模拡大に努めてまいりました。

その一方で、更なる規模拡大と安定的な成長を遂げていくために、ストック売上高を伸ばしていくことは勿論であります。更なる拠点展開・人員増、国・地方公共団体など官

公庁へのアプローチ、国内外での代理店開発、また積極的なM&Aも含めた資本・業務提携を進めてまいります。また、そのための積極的な投資を惜しまず、長期的な成長のための施策を勇気を持って実行してまいります。

このような状況を鑑み、新たに『2014年度～2015年度 2ヵ年経常利益計画』（2015年3月期～2016年3月期）につきましては、前『中期3ヵ年計画』実績同様に、2015年度をゴールとして高収益体質への転換と、海外事業領域での黒字化にチャレンジしてまいります。

## 2. 目標

『2014年度～2015年度 2ヵ年経常利益計画』（2015年3月期～2016年3月期）は、2ヵ年累計での連結経常利益2,000百万円とする。

### ① 継続成長のための先行投資を初年度前半より実施

増収増益を確保する過去最高益の継続と、2年間で更に確実な成長基盤を構築する

2014年度連結経常利益計画	866百万円
2015年度連結経常利益計画	1,134百万円

### ② 高収益事業ポートフォリオの構築

コアコンピタンスの活用とオープンイノベーション戦略の実施により高収益事業ポートフォリオの再構築を図る

### ③ バランスシート経営の推進

財務体質の強化に向けバランスシートにより軸足をおいた経営を推進する

### ④ CSR経営の推進

グループにおけるCSR意識の醸成と事業を通じた社会貢献

\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上